

芝浦工業大学 現地見学会

日時 会場	2023年10月20日(金) 12時45分集合、16時解散予定 豊洲キャンパス：東京都江東区豊洲3-7-5 (TEL. 03-5859-7010) [東京メトロ有楽町線・ゆりかもめ「豊洲」駅下車徒歩7~9分、またはJR京葉線「越中島」駅下車徒歩15分]
参加料 定員	会員：1名無料、追加5,500円 / 一般：19,800円 定員40名 1法人につき2名様までとさせていただきます。
内容	学園ご関係者挨拶、大学の概要及び方針のご説明、質疑応答の後、施設見学

学園のご紹介

芝浦工業大学は、「社会に学び、社会に貢献する技術者の育成」を建学の精神として、1927年有元史郎によって「東京高等工商学校」として創立され、2027年には創立100周年を迎えようとしています。

現在学校法人には、芝浦工業大学（4学部16学科1課程）、芝浦工業大学大学院（修士9専攻・博士後期2専攻）、芝浦工業大学附属中学高等学校および芝浦工業大学柏中学高等学校の各学校が設置されており、大学（大学院を含む）の学生数は、約9,500名といった規模です。大学のキャンパスは、本部を置く豊洲キャンパス（東京都江東区）および大宮キャンパス（埼玉県さいたま市）のふたつに分かれ、それぞれ学年別または学部別、専攻別に学生が学んでいます。

100周年を迎える芝浦工業大学は、アジア工科系大学のトップ10に入るという目標を設定しました。これは、2014年に私立理工系大学として唯一スーパーグローバル大学（SGU）に文科省から選定されたことを意識したものです。世界のグローバル理工系大学に向かって進むために、大学として次の5項目からなる取り組み課題を据えて、Centennial SIT Actionとして宣言しました。

- ①理工学教育日本一 ②知と地の創造拠点 ③グローバル理工学教育モデル校
- ④ダイバシティ推進先進校 ⑤教職協働トップランナー

そして、建学の精神を「世界に学び、世界に貢献するグローバル理工学人材の育成」と読み替え、これを大学の使命として様々な改革に取り組んでいます。

さて、今回皆様への見学会のご案内は、法人本部を設置している芝浦工業大学豊洲キャンパスです。現在豊洲キャンパスには、工学部・デザイン工学部の3・4年、建築学部の全学年および多くの大学院生が在籍しています。

豊洲地区は、東京都の湾岸地区の中心地であり、ビジネスと暮らしが融合する産業創造の新拠点として注目されているエリアです。2006年、豊洲の「まちびらき」の年に豊洲キャンパスは誕生し、あらゆる研究設備を備え、開放性を重視したキャンパスは、芝浦工業大学が推進する地域とのコミュニケーションを通して知識と人間力を育てる実学の実践を支えています。

昨年2022年には、豊洲キャンパスに本部棟がオープンしました。本部棟には、研究室の枠組みを超えて学び合える「オープンラボ」、SIT インキュベーションスクエア、産官学民連携ラボ等からなるベイエリア・オープンイノベーションセンター（BOICE）、240インチLEDビジョンを備えたシアターなど様々な機能を有した施設が設置されています。また既設の研究棟には、大階段一面のフラワーガーデン、トップステージには近隣の子どものための「シバウラキッズパーク」を新設するなど、見どころがたくさんあります。



芝浦工大豊洲キャンパス外観



芝浦工大豊洲キッズパークとフラワーガーデン